

# こもろ 12月定例会

No. 208  
令和8.2.3



千曲小学校3年生の皆さん  
社会科見学で市議会議場を見学しました



だより

題字：井出ひよりさん、井出真由美さん（新町）・優良賞

## 主な内容

- ★特集★議会と語る会の報告……………2～3ページ
- 常任委員会活動報告……………4～5ページ
- ★注目★議会からの提言書……………4ページ
- 12月定例会の概要……………6ページ
- 個人質問……………7～16ページ
- 手話コーナー……………16ページ
- ★トピック★……………17～19ページ
- 「議員定数の1減」「脱炭素先行地域づくり事業」
- 「学校再編事業（附帯決議・申し入れ・全部仮設校舎）」
- ぼいす・傍聴席・編集後記……………20ページ



# ぼいす

## 祝 敬老会



森山区の「桃寿会」の皆さんをご紹介します…20ページ

編集／広報委員会  
発行／小諸市議会  
責任者／議長 山浦利夫  
〒384 - 8501  
小諸市相生町3 - 3 - 3  
☎0267 - 22 - 1700  
<https://www.city.komoro.lg.jp>



Youtube配信 小諸市議会HP



# 参加、活発な意見交換がされました！

会から「義務教育学校」や「芦原新校の基本設  
を掲載しています。  
と協議を重ねてまいります。

詳細なまとめは、右記QRコードからホームページに  
入っていただくか、小諸市議会事務局にお問合せください。



## 義務教育学校ってどんな学校

### 市民の理解

Q：なぜ義務教育学校が導入されたのか？市民の  
合意は十分なのか？  
市民の要望を十分に聴いて、しばらくは小中  
一貫教育で努力し、様子を見て義務教育学校  
にするのはどうか？

市民の理解が不十分だという意見が多いが、  
立ち止まらないのか？

A：「どのような子どもたちに、どのような学び  
を通して、どのような力を身に付けさせたい  
のか」が明確であることが大切で、小諸市  
の子どもたちの実態をもとに、小諸市が目指す  
教育を推進するための授業デザインがあり、  
その授業を実現していくためには義務教育学  
校を目指していくことが必要であると考えて  
おります。

### 不登校

Q：芦原新校が大規模校になると、不登校の増加  
や教員の負担が増えることが懸念されるがど  
うか？

A：どの時間に登校しても安心して校舎内に入れ  
るよう、北校舎入口近くに中間教室を配置し  
ました。現在は中学校のみ市費職員が常駐し  
ていますが、新校では小学生も居場所として  
利用することができるよう計画しています。



教育委員会からの説明

### 小諸東中学校区の再編

Q：小諸東中学校区は美南が丘小学校区で分ける  
のか？こちらの学区も義務教育学校でなけれ  
ばいけないのか？

小諸東中学校区のことが後回しにされること  
がとても心配。

A：○「小諸市小中一貫教育推進基本方針」や  
「小諸市小中一貫教育ビジョン」をもとに、  
小諸市内8校において教育活動が進められて  
いきます。

○今後、小中学校が学校組織やカリキュラム、  
行事を可能な範囲で揃える方向で進めていき  
ます。

○「小中」「小小」共通の行事や交流の機会  
を設けていき、多様な他者とのかかわりによ  
る教育効果を楽しむ機会としていきます。  
○人的な配置や施設設備等、義務教育学校に  
向けていく中で、分離の状況であっても有効  
だと思われる方策については取り入れていき  
ます。

○ICT活用の充実、市としても大切に考  
えています。小諸東中学校区も含めたタブレ  
ットの更新や学校再編のタイミング等を考  
慮しながら、ICT活用の先進地の視察等も行  
い、電子黒板の設置も含めた検討を重ねてい  
きます。

○今年度、コンサルタント事業者の小諸東中  
学校区における再編計画策定支援を委託して  
おり、その成果を基に令和8年度には、全体  
説明会のほか、少人数での座談会や、PTA、  
区長会をはじめとした多様な関係者との対話  
の場を設けていきます。

### 教員数

Q：子ども中心で考えた環境や教職員の増員体制  
が大切だと思うがどうか？

A：子どもたちを真ん中に置きながら、県が定め  
た教員配置数をもとに、市独自の加配教職員  
の配置を検討しています。その際、小諸東中  
学校区の加配職員数も考慮しながら対応して  
いきます。

# 「議会と語る会」 たくさんの皆さんが

10月19日、87人の市民の皆様にご参加いただき「議会と語る会」を開催しました。テーマは「学校再編」で、教育委員計について説明を受けた後、ワークショップ形式で意見交換を行いました。

本稿では、市民の皆様から寄せられた率直で貴重なご意見・ご要望と、それに対する担当部局の回答の中から主なもの子どもたちが安心・安全で快適に学べる環境を整えるため、市議会は今後も市民の声を大切に、教育委員会や市長部局

## 芦原新校の基本設計は？

### 教師・子どもたちからの意見聴取は？

Q：現状の基本設計を実際に使用する教師や子どもたちによく見てもらって意見聴取をしてもらいたいがどうか？

A：教職員向けワークショップやヒアリング、校舎模型巡回による児童生徒へのアンケート等、様々な手法を用いて意見聴取に努めています。

### 保健室

Q：義務教育学校で1～9年で保健室1つでは対応できないのでは？

A：先進校の視察や学校現場へのヒアリング結果を踏まえ、養護教諭2名が連携できる保健室の設置が望ましいとの考えにより、1室で整備予定です。また、個室の相談室を2か所新設し、児童生徒の実情に応じ、きめ細かな対応を行えるよう計画しています。

### 給食

Q：アレルギー食に対応する調理室の位置はいいのか？

A：作業動線を考慮した調理スペースを十分確保するため一部増床し、アレルギー食に対応する調理室を拡張する予定です。

### 中間教室

Q：中間教室等は校内設置で大丈夫か？

A：『すべての子どもを包み込む居心地のよい学校づくり』を実現するため、校内支援チームを中心とした共有・連携により継続的な支援を進め、同じ校舎でともに学べる学習環境を目指します。

### プール

Q：1つでは無理、低学年のプール使用はどうか？

A：中学生は現行どおり既存プール使用を継続し、小学生は民間のスイミングスクールへの委託を検討しています。

### 放課後の児童生徒の居場所

Q：100人を超える児童生徒を1か所で一度に見守ることは困難で、收拾がつかなくなるのではないかと？

A：利用者数を適切に把握した上で、基準を満たす必要な面積を確保しています。運用にあたっては1～2階の共用スペースを活用し、さらには体育館や校庭、テニスコート西側遊具も共用で利用できるよう計画を進めています。

### 通学方法

Q：スクールバスが利用できる範囲を示してもらいたい。防犯のために中学生もバスに乗せてもらいたいがどうか？

A：通学方法は、情報収集や調査を基に通学部会で案を検討しています。公共交通サービスの担当課とも連携しながら、統合準備委員会に諮った上で、教育委員会として方針を決定します。



ワークショップの様子①



ワークショップの様子②



ワークショップの様子③

# 常任委員会の活動報告

## 総務文教委員会

### 委員会視察

総務文教委員長 小林重太郎

### 旧小諸本陣主屋及び表門保存修理工事 (第4期)の変更請負契約について

契約額税込み4億2,900万円で工事を進めているが、変更後は5億5,220万円となり、1億2,320万円の増額となった。

主な変更内容は、構造補強や経師、建具等の内装仕様に係る工事費増で、構造補強は、軸部に入れる鉄骨の数量が確定したこと。また基礎と鉄骨の連結を強固にするためのアンカー杭を施工することによる増額。経師工事は、壁紙に採用する模様が決定したことと数量が確定したことによる増額。建具工事も襖に採用する模様が決定したことでの数量確定による増額。これらの経費は、契約締結時に正確に見込むことができなかった。

その後、文化庁に計画変更が承認された後、設計監理者の積算及び請負業者か

らの見積りにより変更となった。

工事完成は、令和10年12月を予定。その後外構工事等が行われ、一般公開は令和12年度の見通しである。



蘇（よみが）える！ 国重要文化財旧小諸本陣

## 行政視察報告による「議会からの提言書」を市長に提出しました

第19次市議会では、議会基本条例第11条に規定されている「政策立案及び政策提言」を行う市議会を目指しています。

このたび、本市議会では、「令和7年度小諸市議会行政視察報告書」の成果を精査し、本市発展の一助としていただくよう、政策提言を取りまとめ、12月定例会最終日の12月24日に「議会からの提言書」を、市長に提出しました。

### 【政策提言】

1. 「子どもから若者までの総合的な支援について」  
総務文教委員会
2. 「高齢者支援事業について」  
市民福祉委員会
3. 「ワインを活かした観光振興について」  
産業建設委員会



詳細はこちら↓



### 小諸市議会Instagram フォロワー募集中



Instagram

@komoro\_gikai



※経師とは、障子や襖、壁や天井などに紙や布を張ること。



## 市民福祉委員会

### 委員会視察

市民福祉委員長 土屋利江

### 小諸市立南城森の保育園に試食と視察

11月12日、給食調理業務評価（試食）を兼ねて保育園内外を視察。現在、園児数が108名。7クラスあり、土曜保育・一時保育もある。今年4月から、医療的ケア児が入園しているが、準看護師（保育士とみなす）と訪問看護（とちの実）でケアをしており、園児も良好である。

ガラス越しに給食室を視察。自園給食の様子が拝見でき、良い匂いが園中に漂っていた。各クラスに分かれて、園児と一緒にカレーライスと福神漬けをいただいた。園児たちから、質問攻めに合いながら、楽しく、手作りの良さを味わった。今後も、自園給食の継続を願っている。



## 産業建設委員会

### 委員協議会

産業建設委員長 楚山伸二

- ・ウォーターPPP導入の中間報告と今後！
- ・「あぐりの湯」料金改定後の動向！

#### 「上下水道一体ウォーターPPP」

小諸市水道事業及び下水道事業には様々な課題がある。上下水道事業一体の官民連携手法導入による住民のメリットとしては、窓口の一本化や維持管理情報等の共有徹底により、サービスの均質化や緊急対応の迅速化が期待できる。

主な経緯と今後のスケジュールは、R7年11月26日に上下水道一体ウォーターPPPあり方検討委員会が市長への提言書を提出し、R8年3月定例会での条例改正提案、R8年9月定例会で指定管理者の決定と債務負担行為補正の議案を提出、R9年4月より運営開始の予定である。

#### 「あぐりの湯こもろ」

利用料金の改定後、大人料金4割値上げ5か月間（6月～10月）の利用者数の前年度比は、平均1割未満の減少となった。

今後も引き続き、施設運営の状況を注視していく。



上下水道事業学習会（R7年10月7日）

意 答 問

|| || ||  
意 答 質  
見 弁 疑

# 令和7年度補正予算を可決しました

12月定例会は、11月28日から12月24日までの27日間の会期で開催されました。  
理事者提出議案は、条例案12件、予算案12件、請負契約4件、一般案件7件の計35件、  
議員提出議案は1件、合計36件で、すべて原案どおり可決しました。  
請願2件で1件は採択、もう1件は「※みなし採択」となりました。  
議会だよりでは、条例・予算審査等における主な審議経過をお知らせします。

## 令和7年度一般会計

### 補正予算

#### ◆補正予算第7号（6億9千万円の増額補正）

小中学校児童生徒及び教職員の健診等手数料／小中学校給食調理員等の検便検査、食材検査、手指検査手数料

問 健診は何人分で積算しているのか。また、検便は何人分で積算しているのか。

答 健診は、健診項目ごとに積算基礎となる人数が異なるが、例えば検尿であれば小学校2千人、中学校1千人で、給食調理員等の検便は小中学校合わせて60人分で積算している。

#### 後期高齢者医療療養給付費負担金

問 増額となった理由は何か。  
答 被保険者数の増加に加え、一人当たり約85万円の医療費の上昇が要因である。

#### スクールバス運行業務委託料

問 小諸義塾高等学校は4月開校であるが、校舎の建設

が遅れることによる運行経費は含まれているのか。

答 小諸義塾高等学校は4月開校だが、工事の遅れにより4～7月の4か月間は小諸商業高等学校と小諸高等学校の2か所に分かれて授業が行われる予定である。この期間もスクールバスで通学するため、その4か月分の運行経費を含めて債務負担行為を設定している。

#### ◆補正予算第8号（5億5千万円の増額補正）

##### 緊急経済対策事業

問 前回登録された事業者からさらに募集を行うのか。  
また、クーポンを使用できる事業者の周知はどのように行うのか。

答 前回は24の事業者に加盟いただいた。今回は新規事業者を加え、目標300件で加盟登録を進める。周知は、『こもポン』地図機能に加え、『Konomog.（コモマグ）』と連携し、利用者・事業者双方にとって見やすく使いやすいよう再構築する。

## 請願・陳情

#### ◆小諸市の子どもたちが教育の質に格差が生じないよう に公平に安心して学べる環境を求める請願

本請願は、市全体の教育環境の公平性の観点から、芦原中学校区のみ先行整備せず、小諸東中学校区の整備計画も検討すること、今後の議論等では市P連等が同席する協議の場や説明会を設けることを求めるもの。

本会議での採決の結果、全会一致で「採択」と決した。

請願者 美南が丘小学校PTA会長 小林 秀気、PTA副会長 櫻井 聡美、佐藤 竜也、中澤 愛実奈

#### ◆令和10年開校予定の芦原中学校区義務教育学校の増改築工事における仮設校舎について、普通教室を工事エリアと離れた仮設校舎で対応する等、「全部仮設」として進めることを求める請願

本請願は、芦原中学校区義務教育学校の増改築工事における仮設校舎を「全部仮設校舎」で進めることと、市議会は関連議案が上程された場合は、子どものことを第一に考え、速やかに可決し、全部仮設校舎による対応に向けた準備に入れるようにすることを求めるもの。

本会議初日で同じ趣旨の議案が可決となったため、「※みなし採択」となった。  
請願者 芦原中学校PTA会長 櫻井 浩多、芦原中学校PTA顧問 小山 等

※みなし採択とは、同じ会期で、すでに同じ趣旨・目的の議案が議決された場合、その請願は議決することなく、すでになされた議案の議決結果により、採択（不採択）とみなして処理すること。

詳細は、ホームページ、もしくは議会事務局まで。

12月定例会の  
提出議案  
及び審議結果



# 一般質問

個人質問 18名

一般質問とは、議員が「市政が市民のために適切に行われているか」を質すために行うもので、代表質問と個人質問があります。

代表質問は、会派を代表して質問するもので、個人質問は各議員が質問するものです。

一般質問の紙面は、質問した議員個々の責任で作成しており、質問内容の一部を要約したものです。ご不明な点は議員にお尋ねください。また、正式な記録は会議録をご覧ください。

議員の連絡先は、ホームページの議員紹介をご覧ください。議会事務局にお問合せください。

12月定例会  
YouTube動画



## 危険な空家・クマ出没注意

青木春美

質問

空家の件数・推移はどうか。

市長

平成28年に実施した「空家等実態把握調査」で、空家と推定される物件は、1千73件認定した。令和5年は、1千17件となっている。

令和7年度は、市内全域を職員と建築士により再調査し、10月末現在調査は約70%終了し、調査結果から本市の空家数は増加傾向にあり、長期間利用されず管理が不十分な空家が一定数確認された。

特に、高齢化が進む地域や中心市街地、立地条件の悪い地域において増加傾向が顕著な状況である。

管理不全空家は、防災・防犯・衛生・景観など地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしている。

具体的には、倒壊の危険、雑草やゴミの堆積、害虫発生、放火や不法侵入のリスクがあり、区長や住民からの情報が寄せられている。

本市では、「空家等対策措置法」に基づき、通報や相談を受け調査を行い、所有者に通知や直接

説明等で指導を行っている。

今後は、調査を進め、所有者と連携を深め、地域住民の生活環境改善に向け取り組みを進めていく。

質問

市長

クマの出没状況はどうか。

4月以降では、目撃情報が27件、錯誤捕獲10件、農作物被害12件、合計49件の情報があり、昨年は、人身被害1件を含め103件だった。

全国的にクマ出没は急増しているが本市では、目撃情報が昨年の半数となっている。クマの出没は依然確認されており、出没地域を中心に注意をする状況である。



危険な空家直ちに撤去

## 3月定例会の予定（2/17～3/19）

月	火	水	木	金	土	日
2/16	17 本会議(提案説明等)	18	19	20	21	22
23	24	25 本会議(一般質問)	26 本会議(一般質問)	27 本会議(一般質問)	28	3/1
2	3 総務文教委員会・分科会	4 総務文教委員会・分科会	5 市民福祉委員会・分科会	6 市民福祉委員会・分科会	7 産業建設委員会・分科会	8
9	10 産業建設委員会・分科会	11	12	13 予算決算委員会	14	15
16	17	18	19 本会議(委員長報告等)	20	21	22

\*予定のため変更になる場合があります。詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

市議会では、皆さんの要望などを  
請願や陳情として受け付けています。

請願・陳情〆切：令和8年2月4日(水)正午

令和8年3月定例会で審議・審査する請願・陳情の提出期限は令和8年2月4日(水)正午です。

詳細は市議会HPをご覧ください。







## 『強行はあやまち』と答弁する教育委員会

楚山 伸二

質問

小中一貫芦原新校に向けてなぜ「施設一体型」を選んだのか。

教員長

9年間同じ時と場所を共有し生活してこそ生まれる交流で、校舎が離れている分離型では得ることが困難。対話と協働の学びを实践するためにも一体型が最適である。

質問

そもそも芦原新校建設準備の遅延の原因はどこにあるのか。

教育長

遅れは重く受け止めているが、教育委員会としては、設計者や保護者からの切実な声を無視して、一度決まったことだからと強行することこそ、後々取り返しのつかない過ちになると判断した。

質問

学校連絡アプリ「スクリレ」は、一般的に政治活動への利用は禁止されており、市長への意見提出などは規約違反となる可能性があるが、今回署名活動に使用されたのは、どのようなガイドラインに基

づいて使用許可されたのか。

教育長

ガイドライン等は定めていない。各学校の最高責任者である学校長の判断により運用されている。

質問

「今回の署名活動は学校側からの働きかけではないか」、「署名用紙や請願書は学校側で作成したのではないか」、「学校名で署名への協力と呼び掛けるのは問題ではないか」といった保護者からの意見への受け止めはどうか。

監査委員

（再質問を）事前通告されていないので、答弁は用意していない。

### 1. スクリレの仕組みと目的

スクリレは、学校や自治会などでの連絡・集金・アンケートを安全にオンライン化するための教育・地域支援プラットフォームです。本来の目的は「教育・地域コミュニティの運営支援」であり、政治的・社会的主張のための署名活動を前提としていません。

### 2. 署名活動の法的側面

署名活動自体は、憲法で保障された表現の自由・請願権（憲法第16条）に基づく正当な行為です。ただし、使用するプラットフォームの利用規約や目的外使用の可否が制限になります。

・スクリレの利用規約では、一般に「営利・宗教・政治活動への利用は禁止」とされています。  
→ 政治的な要素を含む署名活動（例：条例制定要求、市長への意見提出など）は規約違反となる可能性があります。

一般質問パネルより



## 地域コミュニティの充実（避難所の充実等）

清水喜久男

質問

7年12月からの民生児童委員の改選状況（充足率）はどうか。また、民生児童委員のなり手不足と関係する活動量はどうか。

市長

今回の改選において定員と同数11名が委嘱され充足率は100%、全国的に委員のなり手不足が課題となっており、本市においては負担感の軽減が図られるよう会議の開催回数や研修会の見直しについて検討し、実行予定である。

質問

避難所とされている公民館等の老朽化状況と暑さ対策はどうか。

市長

災害時の避難所として公民館、学校体育館等を位置付けており、公民館については68区のうち27区が旧耐震基準であり地震での避難所として使用できない。暑さ対策は快適な避難所環境の整備といった面からも各区でエアコン設置が進められおり、要望に応じて補助事業を紹介している。

質問

男女共同参画の視点からの避難所運営をどう考えるか。

市長

災害時において女性に限らず高齢者、障がい者、子どもなど多くの避難者の安全と尊厳を守るのが基本となるので、意思決定の場面への女性の参画を進めている。

質問

高齢者が公共交通を利用することで生きがいづくりができないか。

市長

こもテラスには公共交通の発着所があり入浴施設やサークル活動等の場所もあるので活用頂きたい。



こもテラス内の高齢者福祉センターの活用を





## 芦原新校整備に伴う市債償還可能か？

小林一彦

### 質問

概算費用を35億円と見込んでいますが、今後増加する費用をどのように見込んでいるのか、最終的な整備費用は幾らと見込み、どのように資金手当てをしていくのか。

### 市長

今後の変動要因として追加となる可能性のある費用としては、大きく分けて3つの要素を想定している。

1点目は、建設資材価格や労務単価の変動に伴う費用。社会情勢による市場価格の高騰が著しい場合には、工事費が増額となるリスクが存在する。

2点目は、建物本体工事に含まれない別途費用として、新しい学校で使用する机、椅子、ロッカーなどの什器備品費、ICT関連機器の整備費及び引越越し費用等が挙げられる。これらは通常、建設工事費とは別の予算科目で計上する必要がある。

3点目は、周辺環境整備に関する費用であり、周辺道路及び通学

路の安全確保のための道路改良や歩道整備、防犯灯の設置など、学校敷地外のインフラ整備についても、必要に応じて関係課と協議し、予算措置を構じる必要がある。

### 質問

芦原中学校区の再編統合により低減が見込まれる経費2億円余で市債の償還金は賄えるか。

### 財政課長

仮設校舎は補助対象となることが決定したので、最大2分の1補助がくる見込み。この整備に係る起債の償還額は年間約7千万円を見込んでおり、2億円の中には十分収まると考えている。



市債償還その他経費の資金繰り可能



## 個別最適な英語教育・誰もが投票しやすい環境

柏木今朝男

### 質問

海外在住の講師とのオンライン英会話導入について、英語教育の聞く・話す力の育成は、これからの時代、大変重要な要素であり講師とマンツーマンで繋がることで、最適化された発話量の確保ができ、不登校生徒にも自宅で受講できる柔軟性を備え使える英語力の育成ができるが導入の考え方はどうか。

### 教育長

今後もAIを最大限に活用したいと考えるので、現時点ではオンライン英会話の導入は考えていない。

### 質問

誰もが投票しやすい環境づくりについて、高齢者や障がい者などサポートが必要な方が支援してほしい事柄を事前に記入し持参する「投票支援カード」やサポートできる内容が書かれた「コミュニケーションボード」の導入はどうか。

### 選挙管理委員会事務局長

「コミュニケーションボード」は導入しているが「投票支援カード」は速やかに導入を検討したい。

### 質問

電子投票導入の考え方はどうか。

### 選挙管理委員会委員長

電子投票は、開票作業が大幅に効率化され、結果が迅速に判明し、人為的ミスも減少、記入ミスによる無効票がなくなり、より正確に有権者の意思を反映することができ。しかし、システム導入等にかかるコストがかかることが課題であり、国の制度設計・技術標準の確立、セキュリティ基準の更なる明確化、先行する自治体での実績評価等を研究し、コスト縮減の見通しを得られた段階で、改めて実現の可能性について検討していきたい。



誰もが投票しやすい環境づくり



## 財政運営はどうか

田中寿光

### 質問

繰越明許費において、事業費が増額になった場合の対応はどうするのか。

### 市長

前年度で契約した金額等が人件費や物価の急激な上昇等の要因により、事業費が繰越した予算額を超えてしまうような場合については、翌年度の予算にて増額分の対応をすることとなる。具体的には、増額分の予算を当該年度の補正予算などで確保し、繰越した予算と合わせて支出する。

### 質問

金利上昇に伴う繰上償還の状況はどうか。

### 市長

借入利率の見直しとなる10年経過時に、地方交付税措置などがない条件が不利な市債については、予算を計上し繰上償還を行っている。今議会においても、10年の利率見直しにより、利払い額が合計で2千900万円上昇する見込みの市債について、繰上償還に係る予算

を上程している。

### 質問

用途廃止施設の活用・処分に關する運用ガイドラインによる、市内の検討体制の構築はどうか。

### 市長

公共施設管理における全庁的な技術支援を行うための部署の設置について、令和8年度の組織改革の中で検討を進めている。財政運営の適正化を図り、令和43年までに、公共施設の総量を30%削減することを目指して取組を進めている。



やりくり大変です



## 景観まちづくり事業について

丸山正昭

### 質問

景観を損なう建築物・工作物の撤去についてだが、設置状況として、現在、小諸インター入口の揭示板が「下り坂注意」しか揭示されていない。空き部分が3分の2もあり、空き部分になんらかの揭示物を入れたらどうか。

### 建設水道部長

当該揭示板につきましては「下り坂注意」と「気温」を標示して、インターチェンジを降りた車両が凍結した下り坂で事故を起こさないように設置したものである。ご指摘のように既に壊れており、当時の設置した業者も、現在は存在しておらず別の事業者にて平成29年に現在の形で設置したものである。看板の枠に対して非常に小さい電光掲示となっているが、これは支柱を交換せずに安価で改修させたということであり、ご理解をいただきたい。またその空いているところへ市のPRとか、そういったことにつきましては、今のところ考えてないが、今後、費用

も含めて、検討していく。

### 質問

花いっぱい運動の実態はどうか。

### 市長

景観づくりの理念、景観形成方針を定めた中の花いっぱい運動は、平成6年に市制施行40周年事業のひとつとして始まり、幹線道路沿いなどに花壇を設け、サルビアやマリーゴールドなどを植栽し、沿道の景観形成に寄与しているものである。

本年は83団体に参加をいただき、2万7千928本の花の苗の植栽に取り組んでいた。



小諸インター入口の揭示板状況





## こもろ愛のりくんFAXあり・ごみ対策・来迎会

小林 哲子

### 質問

「こもろ愛のりくん」予約はTELのみだが、FAX番号や電話利用が困難な方への仔細表記はどうか。

### 建設水道部長

改善していく。

### 質問

高齢者世帯のごみ出しの支援はどうか。

### 市長

高齢で戸別収集希望者には、有料であるが、シルバー人材センターと浅麓工業企業組合の2社を紹介。ごみの問題以外にも生活全般支援が必要な場合があるので、適宜、廃棄物担当課と福祉部局が連携し個別に対応を行っている。

### 質問

マイクロナプラスチック対策と市民への環境学習は行われているか。

### 市長

職員1名による不法投棄パトロールの実施と、投棄された廃棄物の回収や啓発看板の設置などを行っているところである。環境学習は、令和7年度全ての小学校でク

リーンヒルこもろの見学を実施。

廃棄物の処理や適正な分別について学習をしていただいた。

### 質問

「二十五菩薩来迎会」継承と保存体制の強化はどうか。

### 教育長

保存会では、年に一度の面出し祭典に合わせて郷土の歴史を知る学習会も行っており、来迎会を含めた郷土史についても伝承に力を入れている。指定文化財の伝承者の養成及び公開のために必要経費、また、技術の錬磨のために必要な事業に要する経費に対して補助金を交付する制度を用意している。



平原地区に伝わる「二十五菩薩来迎会」



## こもろ愛のりくん・義務教育学校の方向性は

土屋さつき

### 質問

こもろ愛のりくんの運行時間変更・乗降場所追加の効果と課題は。

### 市長

利用者が増加し運行が過密になり混み合う時間帯では、經由地や目的地が多くなり時間通りに運行するドライバーに負担がかかる。安全の確保等を考慮し時刻表を改定した。乗降場所はかねてより要望があった南城公園を追加した。

### 質問

児童生徒が多い義務教育学校で小中一貫教育の特徴を生かしてどのように取り組んでいくのか。

### 教育長

授業デザインの一貫性や9年間のスパンで連続性を持たせた取組、学年や発達段階に応じた系統性を大切に「縦軸の学び」と教科や領域の垣根を超えた教科横断的な「横軸の学び」に継続して取り組む中でアウトプットが増え、言語能力の伸長が可能となる。また教員が全教科で同じ学び方を進めることで、共通の土俵で授業改善

を検討し深めることが可能となる。

### 質問

小規模な義務教育学校が半数以上を占める中で、大規模校としてどのように運営していくのか。

### 教育長

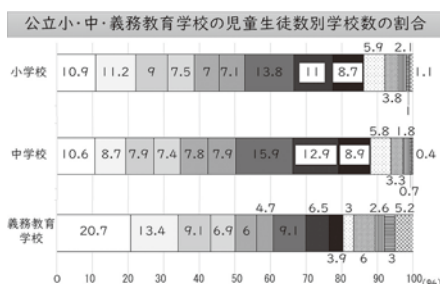
教科担任制を導入しチームで教育を行う。また子ども同士の交流等様々な面で大規模のメリットを生かした学校づくりを目指す。

### 質問

施設一体型の教育効果は何か。

### 教育長

居ながら交流、9年間を見通した学びの推進、組織マネジメントで質の高い教育を提供できる。



小諸の特徴を生かした義務教育学校とは



## 小諸市のＩＴ技術と個人情報管理は安全か

高橋 公

### 質問

市役所の全庁あるいは複数の部署に渡る各種行政システム（コンピュータソフトウエア）の契約本数と年間経費はどのくらいか。

### 企画課長

契約は18システムで年額は8千600万円くらいである。マイナンバー関連や財務会計、認証、行政評価などのシステムが含まれる。健康マイレージシステムなど特定の課で使用されるものは含まれない。

### 質問

パソコンの台数と更新頻度は。

### 市長

庁内の合計が約500台で、ほぼ5年毎に更新している。購入ではなくリース契約である。

### 質問

職員に対するセキュリティ研修はどうしているか。

### 市長

「小諸市情報セキュリティポリシー（方針）」で、最低年一回の研修・訓練を義務付けている。具体的には座学研修の他に「標的型

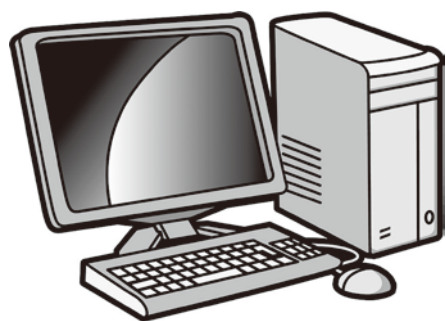
攻撃メール訓練」等の実践型訓練も実施している。

### 質問

悪意を持った職員が個人情報を持ち出すような場合に備えた対策はあるのか。

### 企画課長

まずデータを書き出しているパソコンは課長のものだけであること、個人のUSBメモリーが差し込まれた場合にはアラートが鳴り、システム担当職員にどの誰のパソコンに外部メモリーが使用されたかわかるようになっていて、しっかり管理されている。



## 教育環境の充実・財源・地域資源の活性化

中村美奈子

### 質問

各学校の環境整備に対する要望について優先順位、説明、計画をどのように考えているか。

### 教育長

要望に対する優先順位は児童の生命や身体の安全に直接関わる事項を最優先とし、関係者への説明は検討経緯や結果・方針等を随時共有し、今後の計画は市内小中学校施設長寿命化計画に基づき国からの補助金を最大限活用し進める。

### 質問

芦原新校工事業については以前35億円であったが、今後どの程度増額になる見込みで、小諸東中学校区の再編事業での財源確保をどう考えるか。

### 市長

議会から要望があった設計変更費用、資材高騰などによる上昇が予想されるが、正確な事業費は実施設計後に判明する。また東中学校区の再編事業の財源は、9月議会では基金へ4億円の積立をし、今後計画的な積立をしていく。

### 質問

小諸市の宝である地域資源の活性化のために学校・地域・各種団体をつなげる地域コーディネーターの必要性や役割をどう考えるか。

### 教育長

地域コーディネーターの重要性は大変強く認識している。子どもたちの学びを一層豊かにするため、また、教職員の負担を軽減し教育活動に専念できる環境を整えるためにも、学校のニーズと地域が持つ多様な資源を効果的に結び付ける専門的なつなぎ役、すなわち地域コーディネーターの存在は不可欠である。



教育環境の充実は子供たちの笑顔をつくる！





## 医療費完全無料化・こもテラス運用を質す

竹内 健一

質問

18歳未満医療費完全無料化にした場合、年間負担額はいくらか。

市長

一レセプト500円を無料にすると毎年約3千700万円が必要となる。

質問

県内19市中9市が無料化を実施しており、同規模の自治体に調査をお願いしたいがどうか。

保健福祉部長

施行している自治体へ、効果やデメリットを聞いていきたい。

質問

無料化は「未来の子どもたち」への投資と考えるがどうか。

市長

財源を確保することが大変重要だが、前向きに検討していく。

質問

こもテラスが構築され4年が経過したが、全体運営費はいくらか。

財政課長

6年度実績約2千200万円である。

質問

2階「こもれび」は浴室を完備

市	乳幼児等			ひとり親家庭等			障がい者		
	対象年齢	自己負担金	食費助成	対象年齢	自己負担金	食費助成	対象年齢	自己負担金	食費助成
岡谷市	18歳	500円	あり	18歳	500円	あり	18歳	500円	あり
中野市	18歳	0円	1/2	18歳	0円	1/2	18歳	0円	1/2
小諸市	18歳	500円	なし	18歳	500円	なし	18歳	500円	なし
駒ヶ根市	18歳	0円	なし	18歳	0円	なし	18歳	0円	なし
東御市	18歳	500円	なし	18歳	500円	なし	18歳	500円	なし

県内同規模市の18歳未満医療費無料化状況

した高齢者福祉センターとして社協に運営を委託しているがどうか。

市長

6年度の運営費は578万円で増加傾向だ。施設の修繕などを計画的に進めていく必要がある。

質問

3階にある「小諸スマイル園」は病児・病後児保育として整備され、対象年齢が1歳から未就学児6才までであるが、小学生まで年齢幅を拡大できないか。

保健福祉部長

委託先業者等と調整が必要で、子育て支援拡大へと繋がるように検討していきたい。



## 給食ご飯持参見直し・ユースセンター設置を

土屋 利江

質問

保育園給食の3歳以上児の主食のご飯を保育園で提供できないか。

市長

3歳以上児のご飯については、月曜日から水曜日まで保護者が準備し、夏場の食中毒予防も含めて対応している。ご飯を園で提供する

ことは、費用面や体制面の課題があり現時点では難しい。

質問

全ての園でご飯を提供する場合、炊飯設備の状況はどうか。

保健福祉部長

炊飯設備は各園に備えているが、常時対応は難しい環境の園がある。人的な配置等の検討も必要である。

質問

ユースセンターとは、中高生をはじめ若者が自分の生活や人生に関するあらゆることを意思決定できるように支援し、権利を保障する、家庭や学校でない第三の居場所である。若者の居場所づくりや相談機能の強化の点から、ユースセンターの取組はどうか。

市長

ユースセンターの取組は、若者にとって大切な場所であり、社会全体で若者をサポートすることにつながり、未来の社会を支える力を育む場になると認識している。

質問

松本市では、若者参画課がユースセンターの取組を始めているが、小諸市も全庁での取組はいかがか。

企画課長

来年、小諸高校と小諸商業が統合され、その中に地域連携室ができる予定である。市も参画し、活動できる場所を高校生の意見を聞きながら検討していきたい。



須坂ユースセンター



## 小諸看護専門学校への支援策をぜひ急げ

早川 聖

### 質問

地元小諸看護専門学校から、市長並びに議員宛の支援に向けた切実な「小諸看護専門学校の存続に係る嘆願書」が出された。

看護学校の経営難の背景には、全国的な少子化による受験者数の減少であり、他産業に比べて低いとされる賃金水準にある。

そういった中、市内唯一の専門学校が仮に閉鎖をされた場合、はかり知れない影響があるが、何らかの対応策や財政支援策は検討されているのか。

### 市長

地域医療を担う人材を輩出する意味では非常に重要。特に看護の部分に関して、地域医療の根幹をなすという部分で医師不足と看護師不足は、一番に危惧している。看護師になっていただく、それを希望する方々の一定程度の入学者数が確保できる前提が、財政支援をする上での大前提。学生を確保する見通しがつかないと財政支援は厳しいと思う。

### 質問

看護専門学校の存続運動の主な活動内容として①公的支援の要請、②署名活動、③直接交渉、④広報活動等があげられるが、どの運動も的を得た取組だと思いが、こうした運動が進む前に、小諸市はぜひ先取りをした対策を、ぜひ実行してほしいと思うがどうか。

### 市長

小諸看護専門学校の経営が大変厳しい状況で嘆願書が出された。一緒になって、どうしたら看護学生を確保できるのか、その辺りを一生懸命、医師会・看護学校側と検討していきたい。



## 寒冷地手当／地域医療体制の構築について

清水みき枝

### 質問

9月議会で可決された寒冷地手当について市職員の反応はどうか。

### 市長

引下げになることから、モチベーションの低下につながるのと声が届いている。今後の対応として、月例給を2・86%、特別給を0・05ヶ月分引き上げる予定。初任給の県との格差を考慮し、段階的な引上げを検討中。県人勧の内容がプラスのときもマイナスのときも県人勧に準拠するというルールを労働組合とも確認している。このことにより、市民への説明責任も果たすことができると考えている。

### 質問

職員の賃金や労働条件の決定に際して、労使交渉協議を行い、合意を得るために最大限の努力をするとのことだが、これに対しての考えはどうか。

### 総務課長

説明が不十分だったと認識している。職員が理解できていない部分もあるため、真摯に反省してい

る。協議書を作成し、しっかりと説明していくことを約束する。

### 質問

AED設置地図が全く更新できていないがどうか。

### 保健福祉部長

早急に速やかに登録をしていく。

### 質問

佐久地域の医療改革に伴う救急医療の困難さに対し、市が主体的に総合的な救急体制を構築する考えはあるか。

### 総務部長

主導は広域消防本部だが、市も住民の命を守るために責任を果たし、関係団体と連携して取り組む。



『救急隊が到着するまで』





## 運動着を全小中学校で統一せよ！

小林重太郎

質問

運動着を市内全小中学校で統一すべきではないか。

教育長

運動着の市内全小中学校統一は様々なメリットがある。また保護者の関心も高いと感じている。

質問

保護者の皆さんの圧倒的声がある。また芦原新校は良いタイミングだ。もちろん東中学校地域も併せてぜひ実現できないか。

教育長

その点は認識している。統合準備委員会での議論も注視しながら検討を進めていく。

質問

不登校の子どものための将来の希望をかなえるための「入り口」としてのメタバースの活用について検討は進んでいるか。

教育長

不登校の児童生徒の中には対面でのコミュニケーションに不安を感じている、インターネット上の空間であれば安心して自己実現



運動着を全小中学校で統一せよ！

できる子どもたちがいる。仮想空間メタバースは心理的なハードルを下げ、社会とつながるための場

として機能する大きな可能性を秘めていると認識している。メタバースでの交流をきっかけにしてリアルな教育支援センターへの通室や学校復帰につながったケースもあることを確認できている。

質問

具体的実現に向けてさらに進めべきだがどうか。

教育長

いよいよ一歩踏み出すべき時期であり、さらに深めて子どもたちにプラスになることは導入したい。



## 芦原新校放課後児童の居場所暖房に問題あり

掛川 剛

質問

放課後児童の居場所を玄関ホールも使う設計だが、2階に上っていく回り階段があり広い吹き抜けになっていて、冬は暖房が利きにくい。寒くなり校庭や体育館で遊べない時は、せめて部屋の中だけでも暖かくしておきたいが、広い空間は暖房をしても暖かい空気は上に上がってしまう。この構造について検討しているのか。

教育次長

回り階段があるところは吹き抜けになっているので当然広い空間で暖気は上に上がってしまうので暖房は利きにくいという懸念がある。今回の設計は廊下を含めた全館暖房という空調管理ではなく、一定の温度に設定された教室内の空気が廊下のほうに漏れていくような空間にしている。冷暖房効率を考えれば広い空間をなくすことが一番いいことはわかっているが芦原中学校の広い玄関ホールの特徴を生かしながらの設計なので理解願いたい。

質問

理解しがたい。暖房する部屋より玄関ホールのほうが面積、空間体積ともに極めて広い。小さい部屋から噴き出すと言ってもその近くは暖かいが遠くになれば暖かくなるのか。今の説明では理解できない。こういうことを含めて精査が必要だ。これからのメンテナンス、維持管理をしていく中でも放課後児童の居場所は他の場所も含めて考えていただきたい。そのようなことを踏まえてこのコンサルタントに今後もお願いするのか。

教育次長

引き続きお願いする考えだ。



吹き抜けの広い空間で暖房はどうするのか



## デマンド交通の現状と課題

田邊久夫

質問

デマンド交通の現状はどうか。

市長

利用者数は伸びてきているが、物価高騰や人件費の増加などにより事業費も増加してきている。利用者からの声や運行における課題は運行事業者と毎月定例会議を開催し利用状況や運行上の課題、ご意見や苦情などを共有し、課題解決に向けた話し合いを行っている。また、実際に運行を担うタクシー事業者とも意見交換を行い、事業を実施している。

これからも「こもろ愛のりくん」があつてよかった」と感じて頂ける公共交通を目指し取り組む。

質問

デマンド交通とスクールバスの併用連携はどうか。

市長

現状では、デマンド交通とスクールバスを併用・連携させる検討はしていないが、令和10年以降のスクールバスの運行は、大型や中型バスによる運行だけでなく乗用



デマンド交通の活用について

車タイプの車両も組み合わせることで運行することが想定できるものと考えている。

令和10年以後のスクールバスの運行については、現在教育委員会で検討を進めている。

質問

市民サービスの向上策について市の考えはどうか。

市長

「こもろ愛のりくん」の利便性の向上については、社会実験などを行っている。また、ICTやアプリの導入により利便性を向上させていく取り組みについても、引き続き検討していく。

## 手話で話そう・いっしょに手話をしよう!





# 議員定数 1 減

令和 9 年より議員定数現行19人を18人に削減

「小諸市議会議員の定数に関する条例の一部を改正する条例」全会一致で可決

PICK UP I

気になる！  
どうなる！  
どうなった!?

小諸市議会は、執行機関と対等な関係で相互に緊張関係を保持しながら協力して自治体運営に当たる責任があります。

市議会では、令和 5 年12月に設置した「議員定数及び報酬等検討委員会」において、小諸市議会基本条例を基に検証作業を行い、市民の皆様の意識調査（アンケート）、議員定数・報酬に関する意見交換会及びパブリックコメントを行い多様な意見をいただくなど議員定数の見直しについて調査・議論を重ねてまいりました。

その結果、小諸市の将来像を見据え、議員定数の適正な規模として18人（現行から1人削減）を妥当とする結論に至りました。

定数削減にあたり、議会力の低下を招くことがないように、各議員が一層の資質向上や能

力向上に努めることが求められます。

また、市民の皆様に議会活動や議員活動をより理解していただけるよう、活動の「見える化」を進めてまいります。

※この条例は、来年1月に予定される一般選挙の選挙期日の告示の日から施行。



# 脱炭素先行地域づくり事業

令和 7 年11月 4 日、市民福祉委員会主催「脱炭素先行地域づくり事業学習会」開催。講師に(株)シーエナジー澤田佳也営業本部部長を迎え、各事業の進捗状況を聞いた。

PICK UP II

気になる！  
どうなる！  
どうなった!?

(株)シーエナジーは中部電力ミライズ(株)の100%子会社で、「ゼロカーボンシティの実現への寄与」を目的とした7者による基本協定締結者の一員になっている。脱炭素先行地域づくり事業のほとんどの取り組みの事業主体を担っている。民生部門のゼロカーボン達成に向けての進捗状況は、再エネ電源として、太陽光発電（市庁舎、こもろプラザ、あぐりの湯等）、小水力発電（深沢砂防ダムは基本設計が完了）、バイオガス発電（生ごみ処理工程で発生するメタンガスを利用した発電機を更改し、市庁舎一帯等の公共施設へ供給）といった多様な再エネ電源の導入に取り組んでいる。EV関連では、昨年度、カーシェア事業で5台導入済。合わせて市庁舎駐車場へEV充電設備を14基設置し、今後も計画的にEV

を導入予定。有事の際は移動用蓄電池として活用を想定。脱炭素先行地域内の既存戸建住宅太陽光設備導入関連では、当初計画の320戸に対して、耐荷重条件から100戸程度に見込みが変更されることが判明。対象住民向け説明会ではリースより9割が買取りを希望。「導入の初期費用に対する補助金」の希望が多いことから、それに対する補助金を追加検討中。



# 学校再編事業

## 議会が行政に提出した 「附帯決議」・「申し入れ」の 進捗状況について

気になる！  
どうなる！  
どうなった!?

令和7年度一般会計予算に対する附帯決議（令和7年3月定例会）への教育委員会の回答  
12月19日、特別委員会にて、教育委員会が取り組み姿勢を表明。その内容を確認しました。

1. 「義務教育学校」や「グループ学習」などの導入について、市民の理解を深めるために、より丁寧な説明を行い、説明会や意見交換の機会を増やすよう努めていただきたい。  
【対応状況】 7月に市民説明会を開催したほか、対象となる4つの小中学校において、保護者及び教職員を対象とした出前説明会や、市民の要望に応じた出前講座を実施した。今後は、市民参加型のパネルディスカッションなども計画しており、さらなる対話の機会を設ける予定である。
2. 新校の設計業務においては、児童生徒、教員、保護者、市民からの意見を十分に聴取し、それを設計に反映させることを徹底していただきたい。  
【対応状況】 新しい学校づくりにあたっては、基本設計の進捗に合わせ、ロッカーや黒板、掲示スペースといった細部について、現場の先生方の意見を聞きながら、可能な限り反映させている。
3. ワーキンググループの設立及び運営においては、児童生徒の声を反映させる仕組みを導入し、より多角的な意見を集める仕組みを整えていただきたい。  
【対応状況】 子どもたちが主体的に学校運営に参画する仕組みづくりについて、具体的な検討を進める。芦原新校の校名案の募集をし、今後は校章や校歌をはじめ制服や運動着などについても拡大していく。
4. 小諸東中学校区と芦原中学校区に教育的差異が生じないように十分に配慮して計画を進めていただきたい。（ICT教育推進も含む）  
※詳細はP2～3の「議会と語る会」特集ページをご参照ください。  
【対応状況】 各小中学校が学校組織やカリキュラム、学校行事を可能な範囲で揃え、「小中連携」や「小小連携」による共通の行事や交流の機会を設けるほか、人的な配置や施設設備、ICT環境の整備についても対応していく。

### 小諸市議会からの芦原新校設計に関する申し入れとその進捗状況

【概要】 8月22日に小泉市長・山下教育長へ提出した5項目の申し入れについて、11月17日開催の特別委員会にて進捗を確認しました。  
その結果、以下の3項目（給食室・トイレ・中間教室）については、実施設計において変更・反映される旨の前向きな回答がありました。

1. 給食室を拡張し、十分な調理室のスペースを確保  
・アレルギー食に対応できる安心・安全な調理スペースを確保すること。  
・栄養士・調理員と情報共有し、現場の意見を設計に生かすこと。  
・食中毒や異物混入などを防止するための配食システムを構築すること。  
【回答・対応】 設計変更あり。栄養士及び専門家の意見を取り入れ、アレルギー食や食中毒対応のため、北側を25㎡増床する。
2. 放課後児童の居場所となる児童館の拡張または独立設置  
・利用者数を適切に把握したうえで、十分な子どもたちの活動スペースを確保すること。  
・仮設校舎を児童館として活用することも案として検討すること。  
【回答・対応】 設計変更なし。こども家庭庁と文部科学省の推奨に基づき学校内での運用を進めていく。
3. 保健室の2室設置  
・小学生と中学生とで保健室用途が異なるため、1階に2室配置すること。  
・保健室登校の想定及びシャワー室やトイレを設置する設計も検討すること。  
【回答・対応】 設計変更なし。保健室には2名の養護教諭を配置する。先進校視察や学校現場のヒヤリングを基に密に連携できる1室での運用予定。
4. トイレの増設と低学年児童に適するトイレ設置  
・利用頻度の高い1階にトイレを増設し、低学年児童にも使いやすい仕様へ改修すること。  
【回答・対応】 設計変更あり。1階特別支援教室近くのトイレを拡張し、男女ともに便器の数を増やす。また、低学年児童の手洗い場には、高さ調整のための踏み台を設置する。
5. 中間教室の2室設置  
・不登校傾向のある子どもたちが安心できる居場所として、最初の基本設計のように中間教室を小中学校別に2室設置すること。  
【回答・対応】 設計変更あり。中間教室は小学生用・中学生用スペースとして2室に仕切ることができ、また一体利用も可能で、共用スペースも確保できる計画にする。





PICK UP IV

# 学校再編事業

## 令和7年11月28日 芦原新校整備中の仮設校舎 「一部仮設」を「全部仮設」に変更

気になる！  
どうなる！  
どうなった!?

### 仮設校舎計画決定 までの経緯と今後

令和10年開校予定の芦原新校整備に伴う仮設校舎について、令和7年9月議会において、一部仮設を全部仮設に変更するための債務負担行為の修正案は否決された。

令和7年12月議会において前回と同一内容で債務負担行為の修正案が理事者側から提出され、予算決算委員会では約3時間を越える質疑と討論が行われた。

その結果、委員会・本会議ともに賛成多数で可決となった。

これにより令和8年7月から開始予定の芦原新校の工事は、芦原中学校在籍生徒が全部仮設に引っ越しして行われることとなった。

また新たに、全部仮設校舎4億円に対して上限1/2の国からの補助金が対象となる見込みであることがわかった。



### 賛成討論

騒音や振動、そしてホコリにさらされ、まるで工事現場の中で毎日授業を受けるような状況で学ばなければならない子どもたちの姿を私達は真剣に想像するべき。

2,508筆の署名が集められ、請願書も提出されている。子どもたちの安全・安心を最優先に考え、議会の総意として少しでも快適な学校生活を送れるようにするべき。

1日も早い工期終了目指して快適な学習環境が整えられ、子どもたちが安心して安全な生活が送れるように取り組むべきである。

議会からの申し入れの5項目について、給食室の拡張、トイレの増設、中間教室2室設置の3項目の改善が見られたことを強く評価する。

新しく、いかに優れた芦原新校舎を建てるとしても、それが工事の影響を受ける生徒の犠牲の上に成り立ってはならない。

署名について、保護者やOB、子どもたち、先生方は純粋な気持ちで全部仮設校舎を求めており、その数の多さに感銘した。申し入れ5項目のうち3項目の改善を評価し、仮設校舎のトイレ数も生徒数に対して十分な数の設置が確認できたので、その実行をお願いし賛成する。



### 反対討論

「今回の議案の前提となった署名、特にスクリレの使用について検証する必要がある。また、9月の議案と全く同じであり、前回の指摘が生かされていない。再提出の必要がある。」

理事者側の説明が不十分で設計に対する重大な疑問がある。財政面の不透明さ、署名の瑕疵がある中で初日議決も納得できない。これらは市民の声を切り捨てる行為であり、工事が間に合わないという行政側の準備不足を議員に押し付けているだけだ。子どもたちの未来のために責任を持つために丁寧に審議して、市民の不安に耳を傾けることこそが議会の役割である。

この議案が署名活動に基づく結果を重要視しているものであるならば、署名活動のプロセスの正当性を確認しなければならない。また、議会の議決に対する市民の反発を結果として招いてきた教育委員会の進め方にも強い不信感を抱いている。さらに、このまま歯止めが利かない建設費の増額に対する不安もある。今からでも仮設校舎を使わない、予算をかけない設計に変更できないのか。

### 採決の結果

採決の結果				市誠会					幸笑みらい					日本共産党		公明党		南の風				
議決結果	賛成	:	反対	青木 春美	高橋 公	小林 一彦	丸山 正昭	竹内 健一	田中 寿光	清水みき枝	中村美奈子	土屋さつき	楚山 伸二	小林重太郎	掛川 剛	早川 聖	土屋 利江	柏木今朝男	小林 哲子	清水喜久男	田邊 久夫	山浦 利夫
可決	11	:	6	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	×	×	○	○	×	×	欠	議長

「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席をあらわしています。議長は、表決に加わりません。



**ぼいす**

第33回

キラキラ★小諸人  
森山区  
「桃寿会」の皆さん

今回は森山区の「桃寿会」の皆さんの活動を伺いました。

**Q1** 活動のきっかけは  
何ですか。

20年以上前から踊りの会を行っていました。最初は女性だけでしたが、男性も参加するようになりだんだん人数が増えてきて、今では60代から90代までの14人で活動しています。

**Q2** どんな活動をしていますか。

毎月第2水曜日の午後森山公民館で日本舞踊、ダンス、カラオケ等を行っています。五木ひろしの「さくら音頭」や村田英雄の「皆の衆」に炭坑節の振り付けで踊る練習もしています。練習の合間の茶話会も楽しいひとときとなっています。

**Q3** 発表の機会は  
ありますか。

年に2回、9月の敬老

会と3月の芸能祭で発表しています。

**Q4** その他の活動は  
ありますか。

諏訪神社の一角でマレットゴルフ大会や桃歌の集いを行っています。

**Q5** 新しく  
取り組んでいることは  
ありますか。

ボッチャの練習を始めました。当会会長が市の職員から教わり、やり方を伝授してくれました。ボッチャは誰でもできてチームプレイなので大変盛り上がりそうです。

**Q6** 今後は  
どうしていきたい  
ですか。

若い人たちにたくさん入会していただき一緒に活動していきたいと思っています。そのためには踊りだけではなく、カラオケの練習と組み合わせながら行っていききたいです。また子どもたちと一緒に歌を歌ったり踊ったりで

きたら元気が出ると思うので、今後交流を行っていききたいと思っています。このような活動を続けることで社会参加、健康維持地域の方とのコミュニケーションができることが大事だと思っています。



練習の様子



敬老会での発表の様子

傍聴席



御影区  
黒岩 力也 さん

2025年12月9日の小諸市議会を傍聴しました。市議会を傍聴するのは今回が初めてで、少し緊張しながら議場に入りましたが、傍聴席からは議場全体がよく見え、思

っていたよりも身近に感じられたことが印象に残りました。議員や執行部のやり取りを直接聞くことで、紙面や報道だけでは伝わりにくい空気や間合いのようなものも感じることができました。

この日の一般質問では、平原地区の伝統文化継承に関する話題が取り上げられました。私が住んでいる御影地区にも「道祖神祭り」があり、日々の暮らしの中で地域の伝統文化に触れる機会があり

ます。議会でのやり取りを聞きながら、そうした身近な営みと行政の取り組みがつながっていることを、あらためて意識しました。

私は普段、演劇に関する活動をしていますが、最近読んだ小諸市長の著書の中に「問い」という言葉が使われていたことが心に残っています。市議会を傍聴する中で、議会もまた地域の課題を問いつける場なのだと感じました。

## 編集後記

12月議会定例会が終わり、議会だよりの編集作業に取組んでいます。

議場、委員会室では、緊張感ある質疑が続きましたが、帰宅すると年末の大掃除が待ち受け「委員会の追及より雑巾がけの方が厳しい」と痛感しました。床の汚れの指摘には反論も、修正案も通らず、可決されるのは私の雑巾がけと窓ふきだけです。それでも家庭、地域での「暮らしを良くしたい、住みやすい場所にした

い」という願いは同じだと感じます。市民の皆様の声こそが市政を前へ

進める原動力であることを改めて実感した一年でした。

議会だよりは、議会の今の進行状況を少しでも知っていただき、議会を身近に感じていただけるきっかけになれば幸いです。

市民の皆様の声を丁寧に受け止める暮らしの安全、安心と、笑顔につながる政策を届けられるよう努力を続けて参りますので、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

寒さ厳しき折ご自愛ください。ようようお願い申し上げます。（青春）

